

# 第1章

## 第四次北塩原村生涯学習推進計画 策定の趣旨

---

1. 北塩原村の特色ある生涯学習
2. 生涯学習とは
3. 計画策定の趣旨
4. 計画の位置づけ



# 第1章 第四次北塩原村生涯学習推進計画策定の趣旨

ふるさどを知ること 自分自身を知ること

ふるさどを愛することは 自分自身を愛すること

だから・・・

ふるさどに遊び・学び ふるさどへの 自信と誇りを 持ち続けたい

## 1 北塩原村の特色ある生涯学習

ここでは、北塩原村の魅力や特徴的な生涯学習事業・施設などを紹介します。

### (1) 村民が考える村の魅力ランキング

はじめに、今回行った村民と青少年を対象にしたアンケート調査の中で、村民自身が「自慢したい・残したい・伝えたい」北塩原村の魅力ランキングの結果は以下のとおりでした。

村 民			青 少 年		
ランキング	カテゴリ	票数	ランキング	カテゴリ	票数
第1位	自然	173	第1位	自然	174
第2位	食べもの	53	第2位	食べもの	76
第3位	イベント	26	第3位	イベント	52
第4位	人	20	第4位	人	19
第4位	祭	20	第5位	施設	12

※第6位以下は省略。詳細は、本書資料編の各アンケート調査報告書に掲載。

※村民アンケート（20歳以上の男女対象）での票数の合計は“325”。

これは、村民アンケート有効回収122人から北塩原村ベスト5を挙げてもらった際の合計数。

※青少年アンケート（小学5・6年生と中学生）での票数の合計は“351”。

これは、青少年アンケート有効回収126人から北塩原村ベスト3を挙げてもらった際の合計数。

偶然にも、第1位から第4位までは、20歳以上の村民の方と青少年の回答が同じ順位となりました。特に、第1位の“自然”は、全票数の半数以上を占めており、村民が世代を超えて村の自然に対し魅力・誇り・愛着を抱いていることを示す結果となりました。

ずーっとここに  
住んでいたい

楽しいイベントが  
たくさん

おいしいものが  
たくさん

村を守って  
いきたい

住み心地  
がいい

きれいな景色を  
みていたい

安心  
できる村

家族との  
時間を大切に  
したい

### 自然

裏磐梯が有する雄大な自然はもちろん、会津盆地の眺めや棚田、澄んだ空気なども挙がっています。



### 食べもの

平成19年から生産が始まった山塩や桧原地区で出荷される高原野菜が人気です。



### イベント

裏磐梯地区を中心に行われているイベントのほか、きたしおばら交流フェスタや学校と地域の合同イベントが挙げられました。



### 人

村民の人柄や温かさに惹かれている回答が多くありました。また、世代を超えたつながりの強さや助け合いの心など、協調性・協力性の素晴らしさが挙がっています。



## (2) 特色ある主な生涯学習事業

### ① 学校・幼稚園・地域合同の運動会と文化祭

- ・[北塩原村の学社連携]=[運動会・文化祭]といっても過言ではない昭和50年代から長きにわたって村民に親しまれ、村全体に浸透している事業。
- ・地域の絆を育んでいることはもちろん、“地域の子どもは地域で育てる”といった考えのもと、村の家庭教育推進の一翼を担っています。



学校・幼稚園・地域合同の運動会と文化祭

### ② 友好都市交流事業

- ・沖縄（小6）と台湾（中2）に希望する児童・生徒が全員参加できる事業。
- ・民泊や異文化学習により自身の視野を広げ、豊かな人間性と創造性をもった青少年を育成しています。



ちびっこ探検学校（沖縄）

台湾派遣交流事業

### ③ きたしおばら交流フェスタ

- ・2012年度（平成24年度）から始まった全村民を対象にしたイベント。
- ・現在では約650人の村民が集まるなど、村民の5人に1人以上が参加。
- ・スポーツや文化をテーマに、世代間・地域間交流など人とのつながりを推進しています。



村民ふれあい健康マラソン大会

④ 学校の応援団（学校支援地域本部事業）

- ・学校と地域が連携して子どもへの教育を支援する事業。
- ・村民の方が持つ意欲・スキルを子どもの教育に活かすことが“やりがい”と“生きがい”にもつながっています。
- ・2016年度（平成28年度）にはその取り組みが高く評価され、文部科学大臣表彰を受賞しました。



異世代交流・茶道体験

⑤ 市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）

- ・村民らの健康づくりの一環として「走る（歩く）」ことへの動機づけや関心の高揚を図るとともに、ふくしま駅伝が地域コミュニティのツールとして「集う」ことを推進する事業。
- ・地域住民や学校、家庭、関係団体、スポーツ少年団の子ども達など村が一体となって事業に取り組んでおり、その輪が広がっています。
- ・競技力のみならず、感謝の気持ちをもつ大切さや社会との関わりを通して、選手らの人格形成にもつながっています。



ふくしま駅伝大会

⑥ 磐梯山ジオパーク

- ・県内唯一の日本ジオパーク。※全国にある43地域の一つ。
- ・当エリアの最大の地質的特徴である“岩なだれ”が人々の生活や経済、歴史に与えた影響と、そこで育まれた独自の文化を感じ、学ぶことができます。



ジオパーク出前授業

(3) 特色ある主な施設・環境

① 北塩原村生涯学習センター

- ・旧大塩小学校の廃校利用として整備され、2014年（平成26年）4月に供用が開始されました。
- ・複数にまたがる機能を有する施設として、村民間の交流が図れる施設となっています。



生涯学習センター

- ◎地域コミュニティ機能→ラウンジルームや図書スペース、情報提供スペース
- ◎活動スペース機能→多様な状況に対応した自主活動ルーム
- ◎文化振興機能→村文化財の展示のほか、企画展などによる文化・芸術作品の展示
- ◎スポーツ機能→いつでも・だれでも・気軽にランニングやグラウンドゴルフができる多目的広場
- ◎防災拠点機能→災害時における地域防災拠点としての機能も有しています。

② ラビスパ裏磐梯

- ・天然温泉や温水プールを利用することができる全天候型の施設。
- ・フィットネスジムも有しており、施設の特徴を生かした学習が行われるなど、村民のレクリエーション施設として親しまれています。



ラビスパ裏磐梯

### ③ トレッキングコース

- ・総延長80キロに及ぶ19のトレッキングコース。
- ・気軽に楽しめるウォーキングから2,000m級の登山まで多様なコースを有しています。
- ・四季折々の風景を楽しむことができることも魅力の一つです。



自然に囲まれたトレッキングコース

### ④ 多岐にわたるアクティビティ

- ・トレッキングコースのほか、裏磐梯のフィールドを活用したアクティビティの宝庫です。
- ・カヌー、サイクリング、スキー、写真、釣り、自然観察、ボルダリングなど、まさに多種多様。
- ・それらを生業としている村民も多く、人材の宝庫でもあり、自然体験を学ぶ環境としては県内随一。



豊富なアクティビティ (村内に3つあるスキー場)

### ⑤ 学校体育施設の開放

- ・村内小中学校の体育施設を、村民のスポーツ交流活動の場として開放しています。



村民への学校体育館の開放

## 2 生涯学習とは

生涯学習とは、乳幼児期から高齢期までのライフステージに応じて、生活の向上や仕事、地域へのかかわりなど自己の充実を目指し、自発的な意思に基づいて行うことを基本とした学習活動です。生涯学習は、一人ひとりの人生を、生きがいのある充実したものにするだけでなく、学びを通じて人と人がつながり、お互いに尊重し合い、交流を深めながら住みよい豊かな地域社会づくりに大きな役割を果たすことも期待されています。

## 3 計画策定の趣旨

過疎化や家族形態の変容、価値観やライフスタイルの多様化等により、地域における人間関係の希薄化や人々の孤立が指摘されています。その一方で、東日本大震災の影響もあって、個々人が、積極的に社会活動に参画し、他者と協働しながら、主体的に「互助（ごじょ）・共助（きょうじょ）」による活力ある地域づくりに貢献していこうという意識の高まりを見せています。

こうした状況の中で、地域住民の協働による地域課題の解決や活性化などの地域づくりの取組みを促進するためには、生涯学習を通じて得た知識などを社会参画や社会貢献の活動につなげていけるようにするための仕組みづくりが重要となっています。このような現状を踏まえ、「第三次北塩原村生涯学習推進計画」の計画期間終了に伴い、生涯学習振興のための中長期的な基本構想や基本計画を盛り込んだ「第四次北塩原村生涯学習推進計画」を策定するものです。

## 4 計画の位置づけ

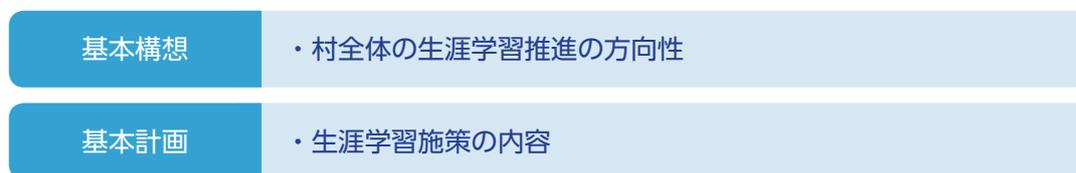
2013年（平成25年）3月に策定した第三次北塩原村生涯学習推進計画期間が2017年度（平成29年度）に終了することから、本村を取り巻く環境の変化などを踏まえ、また、本村の最上位に位置する北塩原村第五次総合振興計画に基づき、第四次北塩原村生涯学習推進計画を策定するものです。計画期間は2018年度（平成30年度）から2027年度（平成39年度）までの10年間とします。

なお、施策・事業の進捗状況、村民のニーズや社会状況の変化に柔軟に対応するため、必要に応じて見直しを行います。

### ○計画の位置づけ



### ○計画の構成



### ○計画期間

